

科目名	ジャーナリズムの諸問題						
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照				
開講期	秋学期	開講学部等	現代社会学部	配当年次	3 年次	単位数	2 単位
教員名	清水 麻子						

授業概要／Course outline

オールメディアとも呼ばれるマスメディア（新聞、テレビ、雑誌など）の信頼に、揺らぎが見られています。一方で、インターネットやSNS上の偽情報や誹謗中傷も問題視されています。多様な情報の中から信頼できる情報を見極めていくためには、ニュースを作り出すマスメディアの構造や働きをよく知る必要があります。本授業では、現代日本のジャーナリズムが直面している様々な課題やジレンマを観察し、情報を正しく判断する力を養います。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

遠隔授業（リアルタイム授業 オンデマンド授業）

【授業方法】

講義

- ・ICTを活用した授業（形態：クリッカー、タブレット端末、スマートフォン等を活用した双方向型授業）
- ・授業担当者は東京在住のため毎回、遠隔授業（オンライン）となります
- ・14回遠隔授業（リアルタイム）＋1回オンデマンド授業（90分相当）です。
- ・オンデマンド授業の配信期間は決まり次第、moodleで受講生に周知いたします。
- ・みなさんが主体性をもって楽しく取り組める双方向型授業をめざします。
- ・実務経験のある教員による授業

授業担当者は20年以上の新聞記者や雑誌編集の経験を有しています。ここ10年は、主にジャーナリズム関係の学術研究に取り組んでいます。

・その他

今年度、畑仲哲雄先生の代わりに、本授業を担当することになりました。
よろしくお願いいたします。

授業内容・授業計画／Course description・plan

1. ガイダンス：授業の全体説明、出席、課題、成績評価について
 2. 変容する情報空間——マスメディアからインターネット、SNSの時代へ
 3. マスメディアの慣習[その1]——発表報道：記者クラブ、形式的で同質的な報道、夜回り、警察的事実
 4. マスメディアの慣習[その2]——権力との攻防：客観・中立規範、放送法4条政治的公平性
 5. マスメディアの慣習[その3]——メディアスクラム：和歌山カレー事件、能登半島地震
- ★オンデマンド授業：約90分の動画を配信します。正確な配信期間は、決まり次第、moodleで受講生に周知いたします。
- マスメディアの慣習[その4]——多様性の欠如：ステレオタイプな表象、スティグマの強化
6. 報道と人権[その1]——冤罪：松本サリン事件、袴田事件
 7. 報道と人権[その2]——実名／匿名：京アニ放火事件、福知山線脱線事故、やまゆり園事件、プライバシー
 8. 報道と人権[その3]——沈黙と隠蔽：性加害／被害、ジャニーズ報道、テレ朝、フジテレビの記者会見
 9. デジタル時代のジャーナリズム[その1]——デジタル調査報道OSINT
 10. デジタル時代のジャーナリズム[その2]——偽情報、世論の分断への対応
 11. デジタル時代のジャーナリズム[その3]——選挙報道、国政選挙、知事選
 12. デジタル時代のジャーナリズム[その4]——コミュニティ・市民とつながる、解決策の模索
 13. マスメディアが報じない真実を探す人々——YouTuber、インフルエンサーとジャーナリストの境界線
 14. まとめ——誰もが情報の送り手となる時代に

※トピックは時勢に応じて変更することがあります。随時お知らせします。

事前・事後学修／Preparation and assignments

- ・毎回、授業の数日前に、説明資料を配布いたします。第1回ガイダンスの資料は、授業後に配布します。
- ・分からないことや、疑問に思ったことなどを質問できる状態で授業に臨んでください。
- ・事前学習と事後学習に要する時間は、計180分です。
- ・毎日、ニュースに触れる時間を作ってください。
- ・この機会に、Yahoo! ニュースではなく、新聞社やテレビ局のサイト、あるいは新聞を図書館で手に取ったり、コンビニで購入して読んでみることをお勧めします。

第1回 ガイダンス：授業の全体説明、出席、課題、成績評価について

[事前学習]新聞やテレビのニュースを見て、報道全般に対する問題関心を高めておく。

[事後学習]この授業を通し、自身の生活に役立てられそうなことは何か、考えておく。

第2回 変容する情報空間——マスメディアからインターネット、SNSの時代へ

[事前学習]情報空間が変容し、ジャーナリズムの信頼が揺らいでいることを学びます。事前配布資料を読み、問題関心を高めておく。

[事後学習]ハイブリッド化した情報空間の功罪を多角的に考え、自身の言葉で説明できるようにしておく。

第3回 マスメディアの慣習[その1]——発表報道：記者クラブ、形式的で同質的な報道、夜回り、警察の事実

[事前学習]伝統的マスメディアの構造／取材・編集・確認・発信の慣習を学びます。新聞やテレビのニュースに触れ、また事前配布資料を読み、報道に対する問題関心を高めておく。

[事後学習]伝統的なマスメディアが作り出す社会的現実とは何か、自身の言葉で説明できるようにしておく。

第4回 マスメディアの慣習[その2]——権力との攻防：客観・中立規範、放送法4条政治的公平性

[事前学習]伝統的マスメディアの職業規範（倫理）について学びます。新聞やテレビのニュースに触れ、また事前配布資料を読み、報道に対する問題関心を高めておく。

[事後学習]国家権力とジャーナリズムの関係について、自身の考えをまとめておく。

第5回 マスメディアの慣習[その3]——メディアスクラム：和歌山カレー事件、能登半島地震

[事前学習]事件後、報道陣が遺族や被害者等に群がる事象について学びます。新聞やテレビのニュースに触れ、また事前配布資料を読み、報道に対する問題関心を高めておく。

[事後学習]国民の知る権利とマスメディアによるプライバシー侵害の関係について、自身の考えをまとめておく。

★オンデマンド授業：約90分の動画を配信します。正確な配信期間は、決まり次第、moodleで受講生に周知いたします。

マスメディアの慣習[その4]——多様性の欠如：ステレオタイプな表象、スティグマの強化

[事前学習]マスメディアが支配的な文化を再生産している問題について学びます。新聞やテレビのニュースに触れ、また事前配布資料を読み、報道に対する問題関心を高めておく。

[事後学習]マイノリティの人権を尊重する表象や発信とはどのようなものか、自身の考えをまとめておく。

第6回 報道と人権[その1]——冤罪：松本サリン事件、袴田事件

[事前学習]冤罪と報道の関係について学びます。新聞やテレビのニュースに触れ、また事前配布資料を読み、報道に対する問題関心を高めておく。

[事後学習]冤罪を防ぐためにはジャーナリズムには何ができるのか、自身の考えをまとめておく。

第7回 報道と人権[その2]——実名／匿名：京アニ放火事件、福知山線脱線事故、やまゆり園事件、プライバシー

[事前学習]実名報道／匿名報道の是非を考えます。新聞やテレビのニュースに触れ、また事前配布資料を読み、報道に対する問題関心を高めておく。

[事後学習]実名報道／匿名報道という報道に関わる人達が抱えるジレンマを通し、報道する側／報道される側の思いについて、自身の考えをまとめておく。

第8回 報道と人権[その3]——沈黙と隠蔽：性加害／被害、ジャニーズ報道、テレ朝、フジテレビの記者会見

[事前学習]マスメディアの自己反省について学びます。新聞やテレビのニュースに触れ、また事前配布資料を読み、報道に対する問題関心を高めておく。

[事後学習]マスメディアが性加害／被害について放置したり、自らの関与について沈黙・隠蔽するケースが相次いでいます。こうした件についてのマスメディアの責任や再発防止策について、人権やジェンダー多様性を尊重する観点から自身の考えをまとめておく。

第9回 デジタル時代のジャーナリズム[その1]——デジタル調査報道OSINT

[事前学習]高度なデジタル技術を活用した新しい権力監視について学びます。新聞やテレビのニュースに触れ、また事前配布資料を読み、報道に対する問題関心を高めておく。

[事後学習]OSINTに市民が参加していることについて、自身の考えをまとめておく。

第10回 デジタル時代のジャーナリズム[その2]——偽情報、世論の分断への対応

[事前学習]SNS上の言説が社会を分断していく中、ジャーナリズムの役割について学びます。新聞やテレビのニュースに触れ、また事前配布資料を読み、報道に対する問題関心を高めておく。

[事後学習]ファクトチェックについて、自身の考えをまとめておく。

第11回 デジタル時代のジャーナリズム[その3]——選挙報道、国政選挙、知事選

[事前学習] SNS上の言説が選挙結果に影響を及ぼし、オールドメディアが批判を受けている現状について学びます。事前配布資料を読み、報道に対する問題関心を高めておく。

[事後学習] 自由民主主義の根幹である選挙と世論形成の関係について、自身の考えをまとめておく。

第12回 デジタル時代のジャーナリズム[その4]——コミュニティ・市民とつながる、解決策の模索

[事前学習] 欧米を中心に広がる問題解決型ジャーナリズムについて学びます。事前配布資料を読み、報道に対する問題関心を高めておく。

[事後学習] 伝統的ジャーナリズムと、どこが違うのか、自身の考えをまとめておく。

第13回 マスメディアが報じない真実を探す人々——YouTuber、インフルエンサーとジャーナリストの境界線

[事前学習] 社会問題や時事問題を伝える社会派Youtuber、インフルエンサーについて、ジャーナリズム論の観点から考えます。事前配布資料を読み、問題関心を高めておく。

[事後学習] あなたがYoutuberになった場合、どのようなコンテンツを編集し、発信することがジャーナリズム的発信といえるのでしょうか。という点を考えてみる。

第14回 まとめ——誰もが情報の送り手となる時代に

[事前学習] 全体を振り返り、誰もが情報の送り手となる時代の発信者の社会的責任について学びます。これまでの授業を思い出し、また事前配布資料を読み、報道に対する問題関心を高めておく。

[事後学習] 全体を振り返り、あなたがジャーナリズムに関して一番言いたいことを、簡潔にまとめましょう。

授業の到達目標／Expected outcome

- ・受講生が、ジャーナリズムと社会の関係について、多角的に考えられるようになる。
- ・政治や社会問題、世論や民主主義についての市民的教養を高める。
- ・メディア・リテラシーを身につける。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- ・思考力 専門知識・専門技能
- ・発信力 【現代社会学部 現代社会学科】
 - ・社会学をはじめとする社会科学の応用知識

履修上の注意／Special notes, cautions

- ・出席確認：毎回、授業後にミニレポートをオンラインで提出する（締め切りは毎回、授業日の翌日正午）。
- ・ミニレポートは、ChatGpt等を使用して書かず、「教員が話した／書いた言葉をカギカッコで引用する」こと。

評価方法／Evaluation

- ・毎回、授業後に提出するミニレポートの提出回数と内容（100%）

教 材／Text and materials

- ・教科書：畑仲哲雄『ジャーナリズムの道徳的ジレンマ』（勁草書房）
- ・事前学習と事後学習のために、資料やファイルを配布する予定です。
- ・授業中、必要に応じて、参考となる書籍を紹介します。

質問や相談の方法／Instructor contact

随時、メールで連絡をしてください。オフィスアワーは特に設けていません。
asakoshimizu7@gmail.com